附属松本中学校
令和６年度　２月の様子

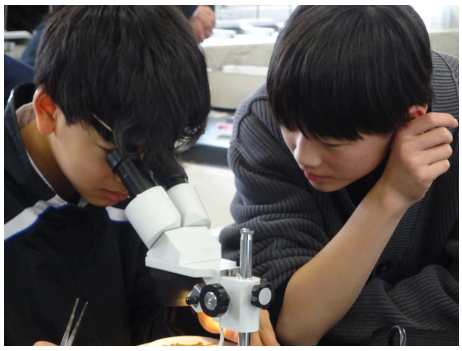
研究まとめの会

本校は附属学校として，「教育実習」「現職教育」とならび「教育研究」を行う学校として重要な使命を担っています。令和７年度より附属幼稚園・松本小・松本中の運営体制が変わり，幼小中一貫型教育校 信州大学教育学部 附属松本学校園へ移行しますが，幼小中全体研究テーマを「探究する子どもが育つ学校園づくり～『思いや願い、問い』を出発点に 子どもの『よさ』の発揮を支える 12 年間の教育課程～」とし，探究的に学ぶ楽しさを実感しながら，自ら学び続ける子どもが育つ学校園を目指して日々実践に取り組んでいます。

２月18日は，今年度の研究のまとめとして６クラスの授業公開を行いました。共同研究者として大学からの指導者や附属幼稚園・松本小学校の職員も参加し，それぞれの視点で生徒の姿を語り合い，来年度の研究の方向性について構想を立てることができました。

1B総合

中間発表会で受けた意見を整理・分析することで，情報を取捨選択しながらチーム内で合意形成し，来年度の活動の見通しを立てました。



1C理科

校庭の様々な場所から採集した地層の土の鉱物の割合や特徴を調べることで，学校の下の地層の広がりについて考えました。

1A社会

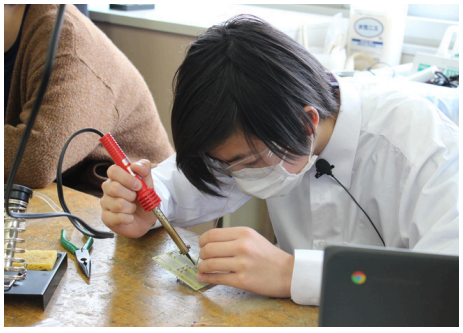
資料から読み取ったことをもとに，自分の考えを共有したり説明したりすることで，鎌倉時代初期の朝廷と鎌倉幕府，武士の関係性について考えました。

2A英語

自分たちが実施するイベントを紹介するパンフレットを作成するために，お互いの文章を読み，コメントし合うことで，英語表現の工夫について考えました。

2D総合

過去の出店経験を想起したり，他グループからの意見を参考にしたりすることで，仮想空間だからこそできることを考え，自グループのよさが伝わるブースをデザインしました。



2C技術

被災者された方の話を聞き，「自身の願い」や，「技量」，「被災した方の視点」の３観点について考えることで， 防災ライトの回路を決め，製作を始めました。